

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー

学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー

入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 経済学部カリキュラムマップ

学部人材養成目的	5つのコースと4つのプログラムを通じて、幅広い教養とともに、進路に直結した経済学分野を系統的に学修する。商都大阪の歴史ある教育環境の下、規範と責任をもって社会や地域の担い手となる独立自強・社会有為の人材育成を目指す。						
ディプロマポリシー ¹	経済学部では、次の4項目にわたる力を学び取り、所定の単位を修得した学生に学位(学士(経済学))を授与する。 独立自強の建学精神に則り、社会に貢献するキャリアに邁進できる。 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得し、駆使できる。 経済全般並びに商都大阪をはじめ、永く関わる社会事象に関する専門知識を吸収して、活用できる。						
科目区分(大・中区分)	必修科目 (右記5コースの学修を総括する演習科目)	学部共通科目 (全員履修できるように複数クラスを開講)	選択必修科目(コース科目)・・・各コースが推奨する科目とその望ましい履修年次				
			公共経済コース	金融経済コース	環境経済コース	消費経済コース	生活経済コース
4年次	EE10402 コース演習II-2 EE10401 コース演習II-1				EE33301 計量経済学 EE33338 日本経済論2 EE33337 日本経済論1 EE32254 マーケティング論 EE32253 マーケティング論基礎	EE32221 経済政策 EE33361 社会保障 EE33351 消費者保護論	EE33316 税法各論 EE33315 税法総論 EE33338 日本経済論2 EE33337 日本経済論1 EE33367 労使関係論2 EE33367 労使関係論1 EE32242 環境経済学2 EE32241 環境経済学1 EE32244 食料経済論2 EE32243 食料経済論1 EE33361 社会保障
3年次	EE10302 コース演習I-2 EE10301 コース演習I-1		EE33331 金融論 EE33363 労働関連法 EE33361 社会保障 EE33325 地方財政論 EE33316 税法各論 EE33315 税法総論 EE33211 行政法	EE34214 会社法 EE33338 日本経済論2 EE33337 日本経済論1 EE33334 ファイナンス論2 EE33333 ファイナンス論1 EE33331 金融論 EE33214 商法 EE33313 民法(物権法)	EE33337 マーケティング論 EE32253 マーケティング論基礎 EE33352 行動経済学2 EE33351 行動経済学1 EE33325 地方財政論 EE33342 地球環境論2 EE33341 地球環境論1	EE32261 生活経済論2 EE32261 生活経済論1 EE33352 行動経済学2 EE33351 行動経済学1 EE33301 計量経済学	EE33367 労使関係論2 EE32242 環境経済学2 EE32241 環境経済学1 EE32244 食料経済論2 EE32243 食料経済論1 EE33361 社会保障
2年次	EE10202 コース基礎演習2 EE10201 コース基礎演習1	EE20211 マクロ経済学 EE20201 ミクロ経済学	EE32224 公共政策2 EE32223 公共政策1 EE32225 財政学 EE32221 経済政策 EE32213 民法(総則) EE32212 政治学概論2 EE32211 政治学概論1	EE32238 国際金融論2 EE32237 国際金融論1 EE32236 金融ビジネス論2 EE32235 金融ビジネス論1 EE32234 中級会計学原理 EE32233 初級会計学原理 EE32231 リスクと向き合う経済学	EE34324 産業組織論2 EE34323 産業組織論1 EE32244 食料経済論2 EE32243 食料経済論1 EE32242 環境経済学2 EE32241 環境経済学1 EE32224 公共政策2 EE32223 公共政策1	EE34324 産業組織論2 EE34323 産業組織論1 EE32254 マーケティング論 EE32253 マーケティング論基礎 EE32252 消費経済論2 EE32251 消費経済論1 EE32231 リスクと向き合う経済学 EE32201 経済データ分析	EE32264 労働経済学2 EE32263 労働経済学1 EE32254 マーケティング論 EE32253 マーケティング論基礎 EE32231 リスクと向き合う経済学 EE32262 生活経済論2 EE32261 生活経済論1 EE32213 民法(総則)
1年次		EE20122 外国経済史 EE20121 日本経済史 EE20131 統計学総論1 EE20111 実践基礎経済学 EE20102 経済学(基礎2) EE20101 経済学(基礎1)					
卒業要件(注)	12単位	10単位以上	34単位以上				
カリキュラムポリシー ²	ディプロマ・ポリシーの学修要件を充足できるように、教育課程を次のとおり編成する。 基盤教育科目を初年次中心に28単位以上修得し、かつ、経済学部の学科科目を68単位以上修得して、合計で124単位以上修得することを課す。 社会からの要請に応じて、授業科目以外の学習機会をを広げ、ディプロマ・ポリシーの実効性を確保するカリキュラムとなるように、継続的に取り組む。 各学年で少人数の演習系科目を全員に履修させるように、1年次「基礎演習」、2年次「基礎演習」、3年次「演習1」、4年次「演習II」の単位修得(いずれも春・秋学期)を必修とする。 経済学の基本領域を専門知識を系統立てて吸収し、社会に向けて実践できるように、学科科目をコース科目とプログラム科目に分ける。 「経済学(基礎1)」の履修を必修とし、専攻分野の科目に進むカリキュラムとする。 「経済学(基礎2)」、「実践基礎経済学」を、2年次に履修し、「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」を履修させ、1年次に「日本経済史」、「外国経済史」のいずれかを履修させ、社会科学の基礎を備えさせる。						
アドミッションポリシー ³	(1) 政治・経済・社会問題に対して知的好奇心と、自主的・積極的に問題解決に取り組もうとする強い意志 (2) 豊かな構想力と人間性を身につけるために、経済学を中心に幅広い分野の学問を積極的に学ぶ意欲と能力 (3) 経済学に関する専門知識を活用して、経済・産業界のリーダーとして活躍しようとする意欲						

(※) 卒業要件単位数：124単位(基盤教育科目：28単位以上、学科科目68単位以上、残り28単位は自由選択)

変化する社会経済に向けて、学識を基にした先取的な提案を行い、実践する力を発揮できる。							
(どのコースからも履修可能)	選択必修科目(プログラム科目)					発展科目群	
	ビジネスリーダー養成プログラム	男女共同参画・女性応援プログラム	関西経済活性化プログラム	グローバルビジネスプログラム	キャリア特別プログラム OE50	教員免許	グローバルキャリア科目
EE33336 経済変動論2 EE33335 経済変動論1 EE34317 法学・政治学特殊講義 EE33309 情報分析 EE34307 数理・情報特殊講義 EE34328 経済政策特殊講義 EE34327 経済理論・経済史特殊講義 EE34321 国際経済学	EE46301 ビジネスリーダープロジェクト	EE46311 女性活躍プロジェクト	EE46321 関西経済プロジェクト	EE46331 グローバル経済プロジェクト EE46337 国際メディア論	EE46352 キャリアシミュレーション(応用) EE46351 キャリアシミュレーション(基礎)	EE47296 地誌学2 EE47295 地誌学1 EE47294 自然地理学概説2 EE47293 自然地理学概説1 EE47292 人文地理学概説2 EE47291 人文地理学概説1 EE47289 職業指導論 EE47286 東洋史概説2 EE47285 東洋史概説1 EE47284 ビジネスリテラシー(応用) EE47283 西洋史概説1 EE47282 ビジネスリテラシー(基礎) EE47281 日本史概説2 EE47281 日本史概説1	EE47298 国際表現演習 EE47297 国際特別演習
EE32234 国際事情 EE32233 国際コミュニケーション論	EE45207 ビジネス・プラクティス EE45205 リーダーシップ論 EE45203 国際ビジネスコミュニケーション EE45201 ビジネス・エコノミクス	EE45217 女性起業論 EE45215 ジェンダー論 EE45213 少子高齢化社会論 EE45211 男女共同参画社会論	EE45225 中小企業論 EE45222 関西経済論2 EE45221 関西経済論1	EE46377 外国経済特殊講義 EE45237 ヨーロッパ経済論 EE45235 アメリカ経済論 EE45233 アジア経済論 EE45232 オーストラリア経済論2 EE45231 オーストラリア経済論1	EE45254 ビジネスリテラシー(応用) EE45253 ビジネス数理スキル(応用) EE45252 ビジネスリテラシー(基礎) EE45251 ビジネス数理スキル(基礎)	EE47286 東洋史概説2 EE47285 東洋史概説1 EE47284 ビジネスリテラシー(応用) EE47283 西洋史概説1 EE47282 日本史概説2 EE47281 日本史概説1	EE47298 国際表現演習 EE47297 国際特別演習
EE31125 租税論 EE31122 地域と暮らし2 EE31121 地域と暮らし1 EE31231 統計学総論2 EE31102 経済数学2 EE31101 経済数学1 EE31251 入門簿記	4単位以上						
専門知識を系統立って吸収し、社会に向けて実践するための学科科目のうち、どのコースにおいても基礎または応用に資するコース科目を提供する。	専門知識を系統立って吸収し、社会に向けて実践できるように、学科科目をコース科目とプログラム科目に分ける。プログラム科目は4つのプログラムおよび選抜型特別プログラム(OE50)に分かれて、学生の主体的な社会との関わりに重点を置カリキュラムとする。						

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー

学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー

入学受け入れ方針。

追手門学院大学 経営学部カリキュラムマップ

学部人材 養成目的	経営および関連領域に関する知識の獲得と実践的な経験を通じて、企業などの組織に関するさまざまな活動に応用できる能力を身につけた社会的責任感のある学生を養成する			
ディプロマ ポリシー ¹	1. 経営学の知識を応用できる実践的能力 【実践的能力の涵養】 企業などの組織が直面する問題を体験的かつ協働的に学び、学修した理論や知見をビジネスの場面で活かすための力を身につける		2. 経営学のコアとなる知識 *【基幹理論の学修】 経営学および関連領域の基幹理論を学び、企業などの組織に関する現代的な問題を捉える検証力を身につける	
科目区分 (大・中区分)	主体的研究科目群		学部共通科目群	
	必修・全履科目 (演習)	選択科目	必修科目	学部共通科目
4年次	MM11402 卒業演習2 MM11401 卒業演習1			
3年次 または 3年次以上	MM11302 発展演習2 MM11301 発展演習1			
2年次 または 2年次以上	MM11202 基礎演習2 MM11201 基礎演習1	MM13201 経営学プロジェクト MM12204 国際表現演習 MM12203 国際特別演習 MM12202 国際事情 MM12201 国際コミュニケーション論		MM22208 哲学基礎 MM22207 法律学基礎 MM22206 経済学基礎 MM22205 経営情報論 MM22204 経営における心理学 MM22203 民法(総則) MM22202 初級会計学原理 MM22201 マーケティング論基礎
1年次 または 1年次以上	MM11102 入門演習2 MM11101 入門演習1		MM21102 経営学への招待II MM21101 経営学への招待I	
卒業要件(※)	12単位(入門演習1・2は全員履修科目)		8単位	8単位以上
カリキュラム ポリシー ²	主体的研究科目群では、少人数による実践的な学習活動を主体的に行う。専門教育で得た知識や理論を具体的な問題に対して適用したり応用したりする活動を通して、経営学および関連学問領域の理解を体験的に深める。ただし、入門演習は、こうした活動を行うための導入科目であり、プレゼンテーションやディスカッションの基礎スキルを具体的な課題を通して身につける。		学部共通科目群では、経営学および関連学問領域の基幹的理論の修得を行う。特に、「経営学への招待I」と「経営学への招待II」は、経営学・マーケティング・会計学・法学・心理学・経営情報学に関する入門的な内容を扱う。	
アドミッシ ョンポリ シー ³	経営学部では、目的とする人材を養成するために、以下のような学生の入学を期待しています。 (1) ビジネスおよびビジネスに関わる内容に関心がある (2) 自分の意見や体験を適切な表現で表明できる (3) 物事を論理的・数量的に考えることができる (4) これまでの活動成果を大学での学びに活かそうとする意欲がある			

(※) 卒業要件単位数：124単位(基盤教育科目：28単位以上、学科科目：78単位以上、残り18単位は自由選択)

3. 各専門分野における深い知識					
【専門性の涵養】 企業などの組織の問題を解決するために必要な専門的知識や理論を学び、 組織の発展や改善に活かすことができる力を身につける					
専門科目群					
経営・マーケティング専攻科目			法務専攻科目	ビジネス心理専攻科目	情報システム専攻科目
経営学関連	マーケティング関連	会計学関連			
MM31308 経営史	MM32305 インターネットマーケティング	MM33305 国際会計論	MM34308 労働関連法	MM35306 広告心理学	MM36309 情報と職業
MM31307 ビッグビジネス論	MM32304 インターネットマーケティング基礎	MM33304 監査論	MM34307 金融法	MM35305 感性・デザイン心理学	MM36308 マルチメディア
MM31306 CSR 経営論	MM32303 消費者行動論	MM33303 経営分析論	MM34306 税法各論	MM35304 組織心理学	MM36307 デジタルマネジメント
MM31305 多国籍企業論	MM32302 マーケティングリサーチ	MM33302 コスト・マネジメント論	MM34305 税法総論	MM35303 コミュニティ心理学	MM36306 インターネットビジネス
MM31304 ベンチャー企業論	MM32301 サービスマーケティング論	MM33301 財務諸表論	MM34304 国際法	MM35302 心理統計学	MM36305 機械学習
MM31303 中小企業論			MM34303 手形・小切手法	MM35301 ビジネス心理実習	MM36304 アルゴリズムとデータ構造演習
MM31302 現代企業論			MM34302 会社法		MM36303 アルゴリズムとデータ構造
MM31301 経営行動論			MM34301 企業法務		MM36302 オペレーションズ・リサーチ
					MM36301 オペレーションズ・リサーチ基礎
MM31211 経営倫理	MM32203 流通システム	MM33206 管理会計論	MM34209 刑法	MM35205 ビジネスの社会心理学	MM36211 データベース
MM31210 国際経営論	MM32202 流通システム基礎	MM33205 原価計算論	MM34208 行政法	MM35204 コミュニケーションの心理学	MM36210 コンピュータネットワーク
MM31209 財務管理論	MM32201 マーケティング論	MM33204 工業簿記	MM34207 社会保障法	MM35203 心理統計学基礎	MM36209 経営情報システム
MM31208 ファイナンス論		MM33203 中級会計学原理	MM34206 知的財産法	MM35202 心理データ解析	MM36208 プログラミング演習
MM31207 オペレーションズマネジメント		MM33202 中級簿記	MM34205 会社法基礎	MM35201 心理データ解析基礎	MM36207 プログラミング基礎
MM31206 生産管理論		MM33201 初級簿記	MM34204 商法		MM36206 情報科学
MM31205 人事労務管理論			MM34203 民法（債権法各論）		MM36205 情報科学基礎
MM31204 人的資源管理論			MM34202 民法（債権法総論）		MM36204 情報統計学
MM31203 経営組織論			MM34201 民法（物権法）		MM36203 情報統計学基礎
MM31202 経営戦略論					MM36202 情報数学
MM31201 経営管理論					MM36201 情報数学基礎
		MM33103 工業簿記演習		MM35102 社会調査法2	MM36103 プログラミング入門
		MM33102 商業簿記演習		MM35101 社会調査法1	MM36102 統計学基礎
		MM33101 初級簿記演習			MM36101 数学基礎
自専攻から18単位以上					
<p>専攻科目群では、経営学および関連学問領域の主だった理論や、それらの修得に必要な知識や手法に関して学ぶ。必要に応じて主体的な学びを取り入れ、経営の現場で必要な知識を体験的に学ぶことも取り入れている。科目名に「基礎」と付くものは学習順序が指定されており、基礎の履修が終わってから、もう一方の履修を進める必要がある。初級簿記演習・商業簿記演習・工業簿記演習は、高等学校において全商簿記2級や全経簿記2級の知識を修得した学生がより早く日商簿記検定3級・2級の修得を目指すよう、1年次配当とする。</p> <p>企業のマネジメントやマーケティングの実施に必要な、情報を把握、整理し、鍵となる要因を見出す力を、時には実践的な学びも通じて身につけることができるようにする。そのために、各領域で以下のようなポリシーで科目を配置している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 経営学領域では、企業をはじめとする組織の運営に必要な、経営資源の最適配分に関する知識を身につけるため、人的資源管理論、経営組織論、生産管理論、財務管理論などを学ぶ。また、経営戦略論、国際経営論、CSR 経営論などの学習を通じて、競合他社をはじめとする経営環境との関係などに関する知見を習得する。 マーケティング領域では、消費者に商品・サービスを効果的、かつ効率的に届けるためのアイデアとそれを実現するための知識を身につけることをめざし、マーケティング、流通システム、消費者行動などについて学習する。 会計学領域では、企業の財務・経理部門を担うことができる知識の習得をめざして、財務諸表論、原価計算、管理会計、監査論などを学ぶ。また、資格取得も視野に入れ、各種簿記科目を習得する。 <p>公務員試験や宅建士などの資格試験の基礎となる知識を習得することを目的とし、民法（総則・物権・債権）などを学ぶ。また、実社会で役立つことを目的として税法、会社法、企業法務などを学ぶ。</p> <p>消費者行動の予測や商品開発などのビジネスの現場で必要とされる、心理学の知識や社会調査などの方法論を学び、それらを活用する力を、ビジネス心理実習での実践的な学びを通じて身につける。</p> <p>情報処理やプログラミング、経営統計学やオペレーションズ・リサーチなど経営分析に必要な基礎知識を学び、ネットワークやマルチメディア、データ・サイエンスやシステムズ・アプローチなどビジネスの問題解決に必要な方法論について理解を深めていく。</p>					

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 地域創造学部カリキュラムマップ

学部人材 養成目的	「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成する。							
ディプロマ ポリシー ¹	1. 地域創造のための基礎的・汎用的な実践的能力 ・地域社会を革新、発展させるために「幅広い専門知識」「基礎的・汎用的能力」「具体的な実践活動」の三要素が必要であることを理解している。 ・地域の問題・課題を総合的かつ実証的に考察することができる。 ・地域の問題・課題の解決策を、主体的に他者との交流・連携・協働の中で構想し、適切な方法で調査・分析・検討をした上で、他者に向けて効果的に発信することができる。				2. 専門学修のコアとなる知識および学際的なもの見方・捉え方 ・地域という「生活空間」に関する制度や法、政治、経済、行政、文化などに関する知識を修得している。 ・地域創造学がもつ学際的な性格を理解し、幅広い教養を身につけている。			
科目区分 (大分類)	主体的研究科目群				学部共通科目群			
科目区分 (中分類)	実践演習科目群		技能系・実習系科目群		学部コア科目群		地域政策コース科目群	
	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名
4 年次	JJ11403 JJ11402 JJ11401	卒業研究 地域創造実践演習(総括) 地域創造実践演習(発展)						
3 年次 または 3 年次以上	JJ11302 JJ11301	地域創造実践演習(展開) 2 地域創造実践演習(展開) 1	JJ34341 JJ32342 JJ32341 JJ31341	(食農企画演習) (地域デザイン演習 2) (地域デザイン演習 1) (産業・企業演習)			JJ31341	[演習] (産業・企業演習)
2 年次 または 2 年次以上			JJ33241	(観光マネジメント演習)				[演習]
								[応用科目群]
							JJ31227	ソーシャルビジネス論
							JJ31226	地域経営論
							JJ31225	地域開発論
							JJ31224	都市政策論
							JJ31223	住民参加論
							JJ31222	公共政策論
							JJ31221	自治体政策論
								[基礎科目群]
					JJ21210	法律学概論 2		
					JJ21209	法律学概論 1		
					JJ21208	人文地理学概説 2		
					JJ21207	人文地理学概説 1		
					JJ21206	文化人類学		
			JJ12205	発信英語 2	JJ21205	社会学概論 2	JJ31205	地域産業論
			JJ12204	発信英語 1	JJ21204	社会学概論 1	JJ31204	地域経済論
			JJ12203	GIS 実習	JJ21203	グローバル社会論	JJ31203	地方自治論
	JJ11202	地域創造実践演習(基礎) 2	JJ12202	質的調査法	JJ21202	現代社会論	JJ31202	地域政策論 2
	JJ11201	地域創造実践演習(基礎) 1	JJ12201	データ分析の基礎	JJ21201	地域文化史研究	JJ31201	地域政策論 1
1 年次 または 1 年次以上					JJ21111	地域づくりと環境		
					JJ21110	地域づくりと障害者		
					JJ21109	地域コミュニティ論		
					JJ21108	少子高齢化社会論		
					JJ21107	男女共同参画社会論		
					JJ21106	北摂学		
					JJ21105	会計学基礎論		
					JJ21104	マネジメント基礎論		
					JJ21103	経済学基礎論		
	JJ11102	地域創造実践演習(入門) 2			JJ21102	地域調査法		
	JJ11101	地域創造実践演習(入門) 1			JJ21101	地域創造学概論		
卒業要件	20 単位(演習: 16 単位+卒業研究: 4 単位)			-		10 単位以上		
カリキュラム ポリシー ²	・地域創造に関して学修した知識・技能・態度などを実際に活用させ、実践結果をもとに、不足している知識・技能・態度やより高次の知識・技能・態度を修得する必要性を自覚し、学びの深化や拡大につなげるための科目を配置する。 ・実践的な演習・実習系科目と専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行うことができる科目を配置する。 ・学びの集大成として、4 年間で学修した理論や知識と実践を統合させた「卒業研究」を行い、その成果を発表することを求める。 学際的な学問である「地域創造学」の基礎となる知識をバランスよく理解し、幅広い教養を身につけるための科目を配置する。 ・本学で扱う「地域創造学」は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の視点を核としているため、それぞれの概略を理解するための科目として、「地域創造学概論」を配置し、その履修を求める。							
アドミッション ポリシー ³	地域創造学部は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成することを目的としています。この目的を実現するために、地域創造学部では、以下に示す関心や意欲、幅広い基礎知識をもっている者を求めます。 (1) 主体性をもって地域の様々な人や団体と連携・協働し、地域・社会に新たな価値を創造することや、より豊かな地域・社会を形成すること、持続可能な社会の創造に高い関心をもっている。 (2) 家族や学校、近隣地域など自身が所属する社会(コミュニティ)において、政治・経済・行政・文化・福祉など日常的に展開される諸活動や社会(コミュニティ)を取り巻く問題・課題を考えることに高い関心をもっている。 (3) 地域政策や地域経済、中小企業の活動などに関心をもち、卒業後に、地域活性化に関わる自治体や企業で活躍したいという強い意欲をもっている。 (4) 暮らしをとりまくさまざまなデザインに関心をもち、卒業後に、地域の特性を踏まえた、都市インフラや居住空間、福祉、地域コミュニティを守り、育て、創造する分野で活躍したいという強い意欲をもっている。 (5) 観光産業の基盤となる自然・文化・くらしといった地域資源に関心をもち、卒業後に、観光を通じて持続可能な社会の実現を目指す分野に従事したいという強い意欲をもっている。 (6) フードシステムや食文化などに関心をもち、卒業後に、食資源を活用した地域づくりに従事したいという強い意欲をもっている。							

(※) 卒業要件単位数：124 単位(基盤教育科目：28 単位以上、学科科目：66 単位以上、残り30 単位は自由選択)

3. 複数のスペシャリティ (Major - Minor)						4. 関心領域および視野の拡大			
・「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、地域再生や地域振興、地域活性化に関する専門的な理論や知識を修得している。						・地域創造に関する自らの関心領域を拡大することができる。			
地域創造学科：専攻科目群						発展科目群			
地域デザインコース科目群		観光コース科目群		食農マネジメントコース科目群		発展科目群		免許・資格科目群	
ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名	ナンバリング	科目名
JJ32342	【演習】 (地域デザイン演習2)		【演習】		【演習】	JJ41302	地域創造学特殊講義2		
JJ32341	(地域デザイン演習1)			JJ34341	(食農企画演習)	JJ41301	地域創造学特殊講義1		
	【演習】	JJ33241	(観光マネジメント演習)		【演習】				
	【応用科目群】		【応用科目群】		【応用科目群】				
JJ32227	災害復興論	JJ33228	地域観光論	JJ34228	商品開発論			JJ42296	倫理学概論2
JJ32226	都市・地域安全論	JJ33227	観光社会学	JJ34227	食品安全論			JJ42295	倫理学概論1
JJ32225	ユニバーサルデザイン論	JJ33226	観光地理学	JJ34226	食品企業論			JJ42294	哲学概論2
JJ32224	都市表象論	JJ33225	サステナブルツーリズム論	JJ34225	外食産業論			JJ42293	哲学概論1
JJ32223	都市景観論	JJ33224	観光マーケティング論	JJ34224	6次産業化論			JJ42292	政治学概論2
JJ32222	住生活論2	JJ33223	観光交流論	JJ34223	食育と食生活論			JJ42291	政治学概論1
JJ32221	住生活論1	JJ33222	観光交通論	JJ34222	食文化概論			JJ42290	地誌学2
	【基礎科目群】		【基礎科目群】		【基礎科目群】	JJ41208	※国際特別演習	JJ42289	地誌学1
JJ32205	都市デザイン史	JJ33221	観光政策論	JJ34221	フードマーケティング論	JJ41207	※国際表現演習	JJ42288	自然地理学概説2
JJ32204	農村計画論			JJ34206	農業経済学	JJ41206	※国際コミュニケーション論	JJ42287	自然地理学概説1
JJ32203	都市空間計画論	JJ33205	観光行動論	JJ34205	食品流通論	JJ41205	※国際事情	JJ42286	東洋史概説2
JJ32202	地域デザイン概論2	JJ33204	観光資源論	JJ34204	アグリビジネス論	JJ41204	非営利組織論	JJ42285	東洋史概説1
JJ32201	地域デザイン概論1	JJ33203	観光産業論	JJ34203	フードビジネス論	JJ41203	現代文化論	JJ42284	西洋史概説2
		JJ33202	観光学2	JJ34202	食農マネジメント論2	JJ41202	地域メディア論	JJ42283	西洋史概説1
		JJ33201	観光学1	JJ34201	食農マネジメント論1	JJ41201	地域イベント論	JJ42282	日本史概説2
								JJ42281	日本史概説1
主専攻（メイン）のコース科目群から基礎科目群6単位以上を含み18単位以上、かつ、副専攻（サブ）のコース科目群から基礎科目群4単位以上を含み10単位以上（合計28単位以上）						2単位以上			
<p>・「地域創造学」の核となる「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、専門的な理論や知識を学ぶための科目を配置する。</p> <p>・専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目と実践的な演習・実習系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行うことができる科目を配置する。</p> <p>・選択したメインのコース（主専攻）から、学びの中心軸となる知識や視点を学修しつつ、サブとなるコース（副専攻）からも一定の科目を履修することで、「地域創造学」の学際的な性格を考慮しつつ、専門知識を深く学修することができる体制をとる。</p>						<p>・日本社会全体及び世界へとつながるグローバルな視野を養い、また、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の4つの視点に留まらず、幅広い見識と視野を獲得し、また、学生の進路につなげるための科目を配置する。</p>			
<p>地域創造学は、経済学や経営学、社会学など複数の学問分野にまたがる学際的な学問です。加えて、地域（ローカル）を考えるためには、グローバルな視点も必要です。そのため、国語・数学・地理・歴史・政治経済・公民・英語など幅広い科目の知識を身につけ、基本的な理解をすることが必要です。具体的には、地域の特色をとらえ、地域の問題・課題の解決策を考えるためには、地理・歴史・政治経済・公民といった知識が求められます。様々な地域を比較、分析するには基本的な数学の知識が必要になる場面もあります。また、文章を正しく理解し、正確なコミュニケーションを図るためには、国語や英語の知識とその運用能力が必須となります。これらの能力は地域創造学を学ぶ上で、ぜひ身につけておきたい能力です。</p>									

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 社会学部カリキュラムマップ

人材養成目的 (1) 社会のなりたち、しくみ、解決が求められる諸問題などを明らかにできる人材を養成する。 (2) 自分自身が将来にわたって職業人として、そして家庭人、社会人として幸せな生活を築いていくための知識やスキルを身につけた人材を養成する。													
科目区分	主体的研究科目群 (1)				学部共通科目群 (2)				専攻科目群 (3)				
	ナンバリング		演習科目 (1-1)		ナンバリング		学部コア科目 (2-1)		ナンバリング		学部教養科目 (2-2)		
	ナンバリング		現代社会学コース (3-1)		ナンバリング		社会問題コース (3-2)		ナンバリング		社会文化デザインコース (3-3)		
4 年次	FS11403 FS11402 FS11401	卒業論文・卒業研究 卒論演習 2 卒論演習 1											
3 年次 または 3 年次以上	FS11302 FS11301	専門演習 2 専門演習 1	FS21302 FS21301	社会学理論 社会学史	FS22301	質的調査 2	FS31308 FS31307 FS31306 FS31305 FS31304 FS31303 FS31302 FS31301	現代社会学特論 2 現代社会学特論 1 ダイバーシティの社会学 比較文化論 現代社会学特論 環境社会学 現代社会学論 リスク社会学	FS32303 FS32302 FS32301	犯罪社会学 ジェンダーの社会学 医療社会学	FS33307 FS33306 FS33305 FS33304 FS33303 FS33302 FS33301	コミュニケーション表現特論 アート環境創造特論 演劇・ダンス演習 メディア文化構想特論 広告の社会学 サブカルチャー特論 現代文化論	
2 年次 または 2 年次以上	FS11202 FS11201	基礎演習 2 基礎演習 1	FS21207 FS21206 FS21205 FS21204 FS21203 FS21202 FS21201	社会学概論 2 社会学概論 1 量的調査 1 グローバル社会学 情報社会学 マスコミ論 現代メディア論	FS22210 FS22209 FS22208 FS22207 FS22206 FS22205 FS22204 FS22203 FS22202 FS22201	社会学統計学 文化人類学 社会学福祉概論 2 社会学福祉概論 1 哲学概論 2 哲学概論 1 法律学概論 2 法律学概論 1 質的調査 1 量的調査 2	FS31207 FS31206 FS31205 FS31204 FS31203 FS31202 FS31201	現代社会学演習 2 現代社会学演習 1 コミュニケーション社会学 食と農の社会学 消費社会学 科学技術論 流行の社会学	FS32208 FS32207 FS32206 FS32205 FS32204 FS32203 FS32202 FS32201	人権問題論 病いの社会学 福祉社会学 家族問題論 社会問題論 都市社会学 現代社会学特論 1 現代社会学特論 2	FS33211 FS33210 FS33209 FS33208 FS33207 FS33206 FS33205 FS33204 FS33203 FS33202 FS33201	社会文化デザイン演習 2 社会文化デザイン演習 1 コミュニケーション・表現演習 2 コミュニケーション・表現演習 1 演劇論 身体表現論 人間関係論 芸能文化論 芸術社会学 文化社会学 サブカルチャー論	
1 年次 または 1 年次以上	FS11102 FS11101	社会学入門演習 2 社会学入門演習 1	FS21106 FS21105 FS21104 FS21103 FS21102 FS21101	社会学調査基礎 2 社会学調査基礎 1 社会文化論基礎 2 社会文化論基礎 1 社会学基礎 2 社会学基礎 1							FS33102 FS33101	コミュニケーション・表現入門演習 2 コミュニケーション・表現入門演習 1	
卒業要件	18 単位 ※社会学入門演習 1・2 は 選択科目		52 単位以上 ※社会学専攻の学生は、学部共通科目群および専攻科目群の社会学専攻から 40 単位を修得すること。スポーツ文化学専攻の学生は、 学部共通科目群および専攻科目群の社会学専攻から 30 単位、スポーツ文化学専攻から 22 単位を修得すること。										
カリキュラム ポリシー 2	社会における多様な問題群に関する知識を得ると共に、それを自分なりに消化し、解決に向けた方策を筋道立てて考察できるようにするための素材と訓練を課すための科目		社会学の基本的な知識や分析用具を身につけ、使えるようにするための体系的知識の習得と訓練を課すための科目				社会学の隣接領域の知識を得ながら、社会の多様なあり方を包括的に考察することができるようにするための科目						
アドミッション ポリシー 3	1. 大学の学びに必要な基礎学力としての知識や能力がある (知識・理解) 2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができる (思考・判断) 3. 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる (表現) 4. 社会、人間、スポーツ、文化、環境などにかかわる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある (関心・意欲) 5. 積極的に他者と関わり、対話を通して相互理解に努めようとする態度がある (態度)												

(※) 卒業要件単位数：124 単位 (基盤教育科目：28 単位以上、学科科目 70 単位以上、残り 26 単位は自由選択)

								社会学的な見方や考え方をより広い分野で応用するための知的な蓄積を持つことができる。				
関連科目群 (4)												
スポーツ文化学専攻												
ナンバリング	コース共通 (3-4)	ナンバリング	スポーツ文化デザインコース (3-5)	ナンバリング	地域・健康スポーツコース (3-6)	ナンバリング	スポーツキャリアコース (3-7)	ナンバリング	国際科目 (4-1)	ナンバリング	関連科目 (4-2)	
			FS35306 FS35305 FS35304 FS35303 FS35302 FS35301	スポーツ文化特論 スポーツ戦略論 スポーツマーケティング論 スポーツ文化創造論 スポーツマネジメント論 e スポーツ論	FS36302 FS36301	スポーツ医学 運動プログラム管理演習	FS37304 FS37303 FS37302 FS37301	スポーツフィールド実習 生涯スポーツ論 アダプテッドスポーツ論 スポーツ情報戦略特論			FS42302 FS42301	地球環境論2 地球環境論1
			FS35208 FS35207 FS35206 FS35205 FS35204 FS35203 FS35202 FS35201	スポーツ教育学 スポーツ文化論 スポーツ社会学 スポーツ産業論 スポーツ政策論 スポーツメディア論 スポーツ都市文化論 スポーツガバナンス論	FS36207 FS36206 FS36205 FS36204 FS36203 FS36202 FS36201	精神保健概論 地域社会とスポーツ 学校社会とスポーツ スポーツ生理学 健康スポーツ論 運動行為論 スポーツ測定評価演習	FS37205 FS37204 FS37203 FS37202 FS37201	発育発達論 スポーツ情報戦略論 スポーツ心理学 スポーツ情報学 コーチング論	FS41204 FS41203 FS41202 FS41201	国際表現演習 国際事情 国際特別演習 国際コミュニケーション論	FS42213 FS42212 FS42211 FS42210 FS42209 FS42208 FS42207 FS42206 FS42205 FS42204 FS42203 FS42202 FS42201	教育心理学 地誌学2 地誌学1 自然地理学概説2 自然地理学概説1 人文地理学概説2 人文地理学概説1 東洋史概説2 東洋史概説1 西洋史概説2 西洋史概説1 日本史概説2 日本史概説1
FS34102 FS34101	スポーツ文化概論2 スポーツ文化概論1											
								専門科目における学びを踏まえ、卒業後の自身の進路を念頭に置いて、必要と見込まれる知識や考え方を身につけ、社会生活における専門知識の活用へとつなげられるよう訓練を課すための科目				

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 心理学部カリキュラムマップ

学部人材 養成目的	幅広い教養的基礎のうえに、多様かつ実践的な心理学的知識や情報科学に関する知識を獲得することで、心理学や情報科学の知識及び方法を様々な職業や実生活に生かし、自己実現をめざす豊かな人間性を持つ人材の育成を目的とする。					
ディプロマ ポリシー ¹	1 心理学の知識を応用できる実践的能力		2 心理学的な学修の基礎			
	【実践的能力の養成】多様な考え方を受容し、心理学を学ぶことによって培われた「思考力」、「想像力」、「分析力」等を用いて、社会や個人の抱えるさまざまな課題に自立的に取り組み、それらに対して客観的かつ論理的に対処する能力を涵養する。		【心理学の基礎的知識の修得】心理学を学ぶために必要な基礎的知識ならびに研究法を修得することで、客観的な視点から人間の行動や心を考察し、科学的かつ批判的な思考を行うことができる能力を身につける。			
科目区分	主体的研究科目群		学部共通科目群			
	研究・論文	実践演習	総合・一般心理学科目	研究法・実習科目	認知・脳科学系	発達・教育心理学系
4 年次	PP11403 卒業論文 PP11402 卒業研究2 PP11401 卒業研究1					
3 年次 または 3 年次以上	PP11302 特別演習2 PP11301 特別演習1	PP12307 心理実習2 PP12306 心理実習1 PP12305 メンタルケア演習 PP12304 チャイルドサポート演習 PP12303 ビジネスリサーチ演習 PP12302 リサーチャー演習 PP12301 心理演習	PP21302 心理学の歴史 PP21301 関係行政論		PP31305 認知神経科学特講 PP31304 認知心理学特講 PP31303 認知神経心理学 PP31302 感情心理学 PP31301 社会認知神経科学	PP32305 生涯発達心理学特講 PP32304 生涯教育心理学特講 PP32303 学習・言語心理学 PP32302 教育・学校心理学 PP32301 実験発達心理学
2 年次 または 2 年次以上		PP12201 ライフスタイル演習			PP31204 認知神経心理学演習 PP31203 知覚・認知心理学 PP31202 認知心理学 PP31201 神経・生理心理学	PP32207 行動論演習 PP32206 発達心理学 PP32205 教育心理学 PP32204 子ども学 PP32203 カウンセリング心理学 PP32202 家族心理学 PP32201 比較心理学
1 年次 または 1 年次以上			PP21205 心理学総合科目 PP21204 倫理学概論2 PP21203 倫理学概論1 PP21202 社会学概論2 PP21201 社会学概論1	PP22208 心理学的データ解析 PP22207 心理学研究法 PP22206 心理的アセスメント PP22205 心理調査法実習 PP22204 心理検査実習2 PP22203 心理検査実習1 PP22202 心理面接実習2 PP22201 心理面接実習1		
		PP12101 心理学入門演習	PP21103 心理学概論2 PP21102 心理学概論1 PP21101 公認心理師の職業	PP22103 心理学統計法2 PP22102 心理学統計法1 PP22101 心理学実験	PP31101 認知・脳科学概論	PP32101 生涯発達・生涯教育心理学概論
カリキュラム ポリシー ²	獲得した知識をもとに自立的に問題を発見する力、必要な資料を収集する力、適切な方法を用いて研究を行う力、さらに得られた資料をもとに論理的に思考する力やそれらを論文にまとめる力など、総合的な能力を養う。	実社会で使える心理学の知識を取得し、また、それらを実践的に応用するための能力を育てる。	心理学をより深く学ぶために必要な基礎的知識を修得する。また、心理学的な実験や調査を通じて、心理学の基礎的な方法論やスキルを問題設定に合わせた臨機応変に使用できる能力を養う。		脳と心の関係について実験的に検討し、認知・脳神経科学に関する専門知識を獲得して、科学的思考力を養成する。	人間の発達や教育的関係にかかわる理論や研究法を専門的に学ぶ。学んだ内容を社会で生かし、生涯発達や生涯学習を支援できるための力を、地域の保育所や学校など、福祉・教育施設と連携して実施する実践プログラムを通して養う。
アドミッ ション ポリシー ³	(1) 人間の心や行動に対する幅広い関心と探求心を持っている。 (2) 自分や他者の心に向き合い、他者とのつながりの中でお互いが心豊かに生きるための知識・技能を学ぼうとする意欲がある。 (3) 最初は難しくても理解できるまで努力する粘り強さを持っている。 (4) 卒業後は学んだことを生かして社会に貢献しようと考えている。					

(※) 卒業要件単位数：124 単位（基盤教育科目：28 単位以上、学科科目 74 単位以上、残り 22 単位は自由選択）

3 各専門分野における深い知識			4 関心領域および視野の拡大	
【各専門領域の知識の獲得】心理学や情報科学の各専門領域の知識と技術を学ぶことで身につけた、心理学的、情報科学的なものの見方や考え方を実社会に応用し、さまざまな価値観を有する個人や集団と柔軟かつ生産的な関係性を構築するための力を身につける。			【より専門性の高い学習のための基礎能力の養成と近接領域の知識の獲得】心理学と関連性の深い他領域の知識を積極的に学ぶとともに、より専門性の高い学習を行うための基礎となる知識や語学力を身につける。	
専攻科目群			発展科目群	
臨床心理学系	社会・犯罪心理学系	人工知能・認知科学系	外書講読	関連科目・留学
PP33309 上級査定法演習2 PP33308 上級査定法演習1 PP33307 心理療法演習7 PP33306 心理療法演習6 PP33305 心理療法演習5 PP33304 心理療法演習4 PP33303 心理療法演習3 PP33302 心理療法演習2 PP33301 心理療法演習1	PP34302 犯罪心理学特講 PP34301 社会心理学特講	PP35307 応用プログラミング演習2 PP35306 応用プログラミング演習1 PP35305 情報セキュリティ入門 PP35304 身体制御システム論 PP35303 コンピュータ・グラフィクス基礎 PP35302 パターン認識概論 PP35301 自然言語処理応用	PP41305 認知心理学講読 PP41304 生涯教育心理学講読 PP41303 発達心理学講読 PP41302 社会心理学講読 PP41301 臨床心理学講読	
PP33212 心理学的支援法 PP33211 感情・人格心理学 PP33210 精神分析学 PP33209 精神疾患とその治療 PP33208 人体の構造と機能及び疾病 PP33207 司法臨床心理学 PP33206 障害者・障害児心理学 PP33205 医療臨床心理学 PP33204 福祉心理学 PP33203 遊戯療法論 PP33202 認知行動療法論 PP33201 健康・医療心理学	PP34205 社会・集団・家族心理学 PP34204 社会心理学 PP34203 司法・犯罪心理学 PP34202 対人行動論 PP34201 産業・組織心理学	PP35220 システム解析入門 PP35219 メディアインタフェース PP35218 計算機アーキテクチャ PP35217 信号解析 PP35216 認知計算論 PP35215 人間の思考と人工知能 PP35214 思考・発見過程分析 PP35213 クラウドソーシング活用法 PP35212 認知科学基礎 PP35211 データ情報学概論 PP35210 学習アルゴリズム演習 PP35209 学習アルゴリズム PP35208 データマイニング概論 PP35207 音声認識 PP35206 自然言語解析 PP35205 データサイエンス演習2 PP35204 データサイエンス演習1 PP35203 統計数学 PP35202 科学技術と産業倫理概論 PP35201 メディア概論	PP41201 中級心理学外書講読	PP42209 法律学概論2 PP42208 法律学概論1 PP42207 文化人類学 PP42206 社会福祉概論2 PP42205 社会福祉概論1 PP42204 国際コミュニケーション論 PP42203 国際特別演習 PP42202 国際事情 PP42201 国際表現演習
PP33101 臨床心理学概論	PP34101 社会・犯罪心理学概論	PP35109 科学技術プログラミング演習2 PP35108 科学技術プログラミング演習1 PP35107 情報リテラシー PP35106 基礎数学2 PP35105 基礎数学1 PP35104 画像・映像処理概論 PP35103 自然言語処理概論 PP35102 人工知能・認知科学概論2 PP35101 人工知能・認知科学概論1	PP41101 初級心理学外書講読	
心理学や情報科学の基礎知識を幅広く習得し、その知識を高い教養的知識として実社会に活かし、生活を豊かにする。各専攻領域を学ぶことで、人の興味・関心の理解に基づいて、さまざまな視点からものごとを考える力を養う。			心理学に関するより深い知識を獲得するとともに大学院への進学を見据え、英語文献や英語論文を読みこなす力を養う。	
心理的援助が必要とされる対象の心理社会的側面を多面的にアセスメントできる複数の視点や知識を獲得する。また、演習を通してそのような対象を援助する際に必要となる対人スキルや介入技法を実践的に学び、社会で活用できる対人援助スキルを養う。			心理学と関連性の深い、その他近接領域に関する知識を獲得し、他領域との比較を通して、心理学の基本的な考え方やその方法論について理解できる力を養う。	
個人と集団や社会との関連、対人関係における人の心理、犯罪に影響を及ぼす要因や防犯に対する意識について学びながら、社会において有用となる知識やスキルの養成を行う。			情報科学と認知科学の両方の知識をバランスよく学習し、AI開発に必要な実践的なスキルを養成するとともに、優れたAIについて考えることができる思考力を養成する。	

用語解説

1.ディプロマ・ポリシー
学位授与方針。

2.カリキュラム・ポリシー
教育課程の編成・実施方針。

3.アドミッション・ポリシー
入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 国際教養学部国際教養学科カリキュラムマップ

学部人材 養成目的	国際教養学科においては、3つのコース制と全員参加の海外留学プログラムを組み合わせ、国際的に通用する教養と実践的な英語力を養成する教育課程の充実を企図している。時代と社会がグローバル化の波の中で大きく変動しつつある現在、英語をコミュニケーションツールとし、国際的な視野に立って自国文化を眺め、自国文化との関係の中で、グローバル社会の諸問題をより多角的かつ客観的に把握し、それを解決する方策を導き出すことのできる人材の養成を目指す。				
ディプロマポリ シー 1	1. 国際教養学のための基礎的・汎用的な実践的能力 グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ能動的に導き出すことができる。	2. 国際教養学的なものの見方・捉え方の基礎 グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場において積極的に英語で相手とコミュニケーションを図ることができる。			
科目区分	主体的研究科目群 課題解決型科目群 ナンバリング	専修英語科目群 ナンバリング	英語科目群 実践英語科目群 ナンバリング	グローバルリーダーコース科目群 ナンバリング	
4年次	CC11402 ◎ Resarch Project 4 CC11401 ◎ Resarch Project 3				
3年次 または 3年次以上	CC11302 ◎ Resarch Project 2 CC11301 ◎ Resarch Project 1		CC22303 ○ Problem Solving Workshop CC22302 ○ Critical Thinking Workshop CC22301 ○ Discussion and Debate	CC31302 ○ 国際企業論 CC31301 ○ 市民活動と国際貢献	
2年次 または 2年次以上	CC11204 ○ グローバル・イシュー4 CC11203 ○ グローバル・イシュー3 CC11202 ○ グローバル・イシュー2 CC11201 ○ グローバル・イシュー1	CC21203 自律学習法演習 2 CC21202 ○ Speech and Presentation CC21201 ◎ Communication		CC31210 ○ 国際関係演習2 CC31209 ○ 国際関係演習1 CC31208 ○ 留学特別演習2 CC31207 ○ 留学特別演習1 CC31206 ○ 国際ビジネス論 CC31205 ○ 国際リーダーシップ論 CC31204 ○ Communication English CC31203 ○ Business Communication CC31202 ○ News English CC31201 ○ Media English	
1年次 または 1年次以上	CC11101 新入生演習	CC21105 自律学習法演習 1 CC21104 ○ Writing 2 CC21103 ○ Writing 1 CC21102 ○ Reading 2 CC21101 ○ Reading 1			
カリキュラムポ リシー 2	① 調和のとれた英語の四技能の向上を図りつつ、英語の読み書きの基礎から専門書の精読、英語での論文執筆や研究発表に至る、英語による応用的な受信・発信力を体系的に身につけるために「専修英語科目群」を1年次から置く。 ② 国際的に通用する教養を幅広く身につけるために、専修英語科目群を補完し、問題解決や討論、各種の英語検定資格の取得を企図した「実践英語科目群」と、英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通して国際教養力を高めるための「共通科目群」を置く。ここには英語の教員免許状取得に必要な科目が含まれる。 ③ 「グローバルリーダーコース」「グローバルキャリアコース」「グローバルコミュニケーションコース」という複数のスペシャリティに関係する専門的な知識と技能を習得するために、「コース科目群」を置き、選択したコースに特化した専門科目をバランスよく履修する。ここには、コース別に目的やキャリアにつながる英語力を養成するための英語科目群も含まれる。複眼的な視点に立った国際教養力を身につけるためにコースを横断して一定数の科目を履修する。				
アドミッション ポリシー 3	① 英語をマスターして国際的に活躍したい者 ② グローバルな視野を持ち、そして自分で考えはじめることのできる者 ③ 世界と日本の架け橋になりたいと志し、行動する者				

(※) 卒業要件単位数：124単位(基盤教育科目：28単位以上、学科科目56単位以上、残り40単位は自由選択)

3. 複数のスペシャリティ				4. 関心領域の拡大			
修得した分野別の専門的な知識と技能をグローバル社会において応用的かつ実践的に用いることができる。				海外体験を通して高い英語運用力を身に付け、同時に異文化の受容と自国文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知識を獲得し、英語教育の現場等においてそれらを応用的に用いることができる。加えて国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を眺めることができる。			
専攻科目群		グローバルコミュニケーションコース科目群		国際日本学科科目群		発展科目群	
グローバルキャリアコース科目群		グローバルコミュニケーションコース科目群		国際日本学科科目群		発展科目群	
ナンバリング		ナンバリング		ナンバリング		ナンバリング	
CC32302	○環境と経済	CC33302	○世界関係論	CC41310	日本語教育実習2		
CC32301	○貿易から見る世界	CC33301	○日本文学を英語で読む	CC41309	日本語教育実習1		
				CC41308	日本語教育演習2		
				CC41307	国語科教育研究2		
				CC41306	国語科教育研究1		
CC32206	○世界の中の日本	CC33206	○宗教文化とグローバル化	CC41245	日本語教育演習1	CC42224	*英語科教育研究2
CC32205	○インバウンド観光学	CC33205	○英語と世界の言語	CC41244	日本語教授法	CC42223	*英語科教育研究1
CC32204	○ World Englishes	CC33204	○ Academic Speaking	CC41243	国語科教育論2	CC42222	*英語科教育論2
CC32203	○ Business English	CC33203	○ Academic Listening	CC41242	国語科教育論1	CC42221	*英語科教育論1
CC32202	○ Hospitality English	CC33202	○ Academic Writing	CC41241	書道2	CC42220	○ ICTと英語教育
CC32201	○ Travel English	CC33201	○ Academic Reading	CC41240	書道1	CC42219	○ ICTと英語研究
				CC41239	日本の伝統文化を発信する	CC42218	○情報科学各論2*
				CC41238	笑いをマネジメントする	CC42217	○情報科学各論1*
				CC41237	日本の芸能と文学	CC42216	○アメリカ史*
				CC41236	大阪文化史演習	CC42215	○イギリス史*
				CC41235	海外の日本文学研究	CC42214	○アメリカ文化講義*
				CC41234	幕末史	CC42213	○イギリス文化講義*
				CC41233	同時代文学を読む	CC42212	○米文学概論2*
				CC41232	越境する日本文学	CC42211	○米文学概論1*
				CC41231	日本の宗教と思想	CC42210	○英文学概論2*
				CC41230	イスラーム世界と日本	CC42209	○英文学概論1*
				CC41229	漢文学2	CC42208	○英語学講義2*
				CC41228	漢文学1	CC42207	○英語学講義1*
				CC41227	アジアの中の日本2	CC42206	○言語情報処理概論2*
				CC41226	アジアの中の日本1	CC42205	○言語情報処理概論1*
				CC41225	大阪の文学	CC42204	○英語音声学2*
				CC41224	人形浄瑠璃文案の世界	CC42203	○英語音声学1*
				CC41223	狂言の世界	CC42202	○英語学概論2*
				CC41222	漫才の世界	CC42201	○英語学概論1*
				CC41221	落語の世界		
				CC41220	笑いとコミュニケーション		
				CC41219	世界のユーモアと日本の笑い		
				CC41218	旅と温泉		
				CC41217	韓国から見た日本		
				CC41216	中国から見た日本		
				CC41215	ゲームシナリオ論		
				CC41214	世界のポップカルチャー		
				CC41213	漫画文化論		
				CC41212	アニメ文化論		
				CC41211	国語学史		
				CC41210	日本史概説2		
				CC41209	日本史概説1		
				CC41208	日本文学概説2		
				CC41207	日本文学概説1		
				CC41206	日本文学史2		
				CC41205	日本文学史1		
				CC41204	応用日本語2		
				CC41203	応用日本語1		
				CC41202	国語学2 (文章表現)		
				CC41201	国語学1 (音声言語)		
				CC41105	図書館・デジタルアーカイブ活用法	CC43103	○ Spring Session
				CC41104	日本語のための古典2	CC43102	○留学事前演習
				CC41103	日本語のための古典1	CC43101	○ Summer Intensive Session
				CC41102	日本語学概説2		
				CC41101	日本語学概説1		
④海外体験を通して、英語を使用したコミュニケーション活動の実践、異文化理解、自国文化理解を促すことを意図した「留学科目群」を置く。 ⑤国際的な視野に立ち、現在の国際社会において直面し得る様々な問題に対応できる思考力と表現力を磨くために2年次から「課題解決型科目群」を置き、3年次・4年次の Research Projectへと段階的に接続する。 ⑥国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を学び国際教養力を向上させるために「国際日本学科科目群」の中から一定数の科目を履修する。							
グローバルに展開しているビジネスの現場で求められる基礎から応用までの専門的知識と技能を修得することを目的とする科目群。	グローバルな場における異文化間コミュニケーションの実践において求められる基礎から応用までの専門的知識と技能を修得することを目的とする科目群。	国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を学び国際教養力を向上させることを目的とする科目群	英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知見を通して国際教養力を高める科目とともに、英語の教員免許取得に必要な科目が含まれる科目群。	海外体験を通して、英語を使用したコミュニケーション活動の実践、異文化理解、自国文化理解を促すことを目的とする科目群			

用語解説

1. ディプロマ・ポリシー

学位授与方針。

2. カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成・実施方針。

3. アドミッション・ポリシー

入学者受け入れ方針。

追手門学院大学 国際教養学部国際日本学科カリキュラムマップ

学部人材養成目的	(1) 日本の文化を深く理解し、相対的で客観的な異文化理解ができる人材を養成する (2) 日本語と外国語を用いて、自らの考えを国際的に発信する力のある人材を育成する (3) 「国語」または「外国語」としての日本語を教育することのできる人材を養成する			
ディプロマポリシー ¹	<知識・理解> (1) 日本語をはじめとした諸言語について深く理解し、適切に運用することができる (2) 日本の伝統的な文化から最先端の文化まで深く理解し、説明することができる <思考・判断> (3) 他の国との関係の中で、日本文化を見つめなおし、その価値や意義を客観的に考えることができる (4) 日本文化と他の文化を深く知るにより、様々な国際問題について自分自身の見解を持つことができる			
	1. 国際日本学のための基礎的・汎用的な実践的能力		2. 国際日本学的なものの見方・捉え方の基礎	
	伝統的なものから最先端のものまで日本の文化を深く理解し、これを他の文化と比較しながら、日本文化についての自分自身の考えを文章または口頭で、他者に効果的に伝えることができる。また、フィールドワークやワークショップを通じて、自分自身で課題を発見し、これを適切な方法で調査・分析・検討することができる。		日本を発信するツールとして、日本語はもちろん、英語を含む世界の諸言語についても深く理解し、これを適切に運用する知識を得る。また、日本だけでなく他の国の文化についても深く理解することで、日本文化を見つめなおし、その価値や意義を客観的に考えることができる。	
科目区分	主体的研究科目群		学部共通科目群	
	実践演習科目群	実習系科目群	日本語・日本文化基礎科目群	外国語・外国文化基礎科目群
4年次	CJ11403 Seminar 6 CJ11402 Seminar 5 CJ11401 卒業研究			
3年次 または 3年次以上	CJ11302 Seminar 4 CJ11301 Seminar 3	CJ12303 日本学ワークショップ CJ12302 笑学ワークショップ CJ12301 クールジャパン学ワークショップ		CJ22301 留学特別演習2
2年次 または 2年次以上	CJ11204 日本語プレゼンテーション2 CJ11203 日本語プレゼンテーション1 CJ11202 Seminar 2 CJ11201 Seminar 1	CJ12203 日本の魅力発信フィールドワーク CJ12202 演芸フィールドワーク CJ12201 テーマパーク研究	CJ21212 日本出版文化論 CJ21211 日本史概説2 CJ21210 日本史概説1 CJ21209 日本文学概説2 CJ21208 日本文学概説1 CJ21207 日本文学史2 CJ21206 日本文学史1 CJ21205 応用日本語2 CJ21204 応用日本語1 CJ21203 国語学2 (文章表現) CJ21202 国語学1 (音声言語) CJ21201 国語学史	CJ22216 グローバルリーダー ESP 4 (Communication English) CJ22215 グローバルリーダー ESP 3 (Business communication) CJ22214 国際関係演習2 CJ22213 国際関係演習1 CJ22212 留学特別演習1 CJ22211 Negotiation English CJ22210 国際事情 CJ22209 国際コミュニケーション論 CJ22208 国際表現演習 CJ22207 国際特別演習 CJ22206 Speech and Presentation (EAP) CJ22205 Communication (EAP) CJ22204 世界の言語と文化4 (アジア諸語) CJ22203 世界の言語と文化3 (ヨーロッパ諸語) CJ22202 世界の言語と文化2 (韓国語) CJ22201 世界の言語と文化1 (中国語)
1年次 または 1年次以上	CJ11102 日本語ワークショップ CJ11101 新入生演習		CJ21105 電子出版入門 CJ21104 日本語のための古典2 CJ21103 日本語のための古典1 CJ21102 日本語学概説2 CJ21101 日本語学概説1	CJ22107 Spring Session CJ22106 留学事前演習 CJ22105 Summer Intensive Session CJ22104 Writing 2 (EAP) CJ22103 Writing 1 (EAP) CJ22102 Reading 2 (EAP) CJ22101 Reading 1 (EAP)
カリキュラムポリシー ²	(1) 「国際日本学」について総合的に学び、それを発信する力を身につけるために「実践演習科目群」を置き、2年次からはじめる「Seminar」を3年間体系的に学び、その集大成として、4年次に「卒業研究」を行う。 (2) 日本語を深く理解し、運用能力の向上を目指すために「日本語・日本文化基礎科目群」を置く。また、その理解の基礎となる、日本の文化や歴史を学ぶ科目も配置する。 (3) 日本を発信するツールとして、外国語を深く理解し、適切に運用するために「外国語・外国文化基礎科目群」を置く。また、その理解の基礎となる、他の国の文化や歴史を学ぶ科目も配置する。			
	「実践演習科目群」は、日本について深く学び、これを他の国の文化と比較することで得られた自らの考えを、文章または口頭で他者に向けて効果的に表現、発信する力を身につけることを目的とする。	「実習系科目群」は、「コース科目群」で得た知識をフィールドワークおよびワークショップなどアクティブラーニングの手法を使いながら、より実践的に学び、発信するためのスキルを身につけることを目的とする。	「日本語・日本文化基礎科目群」は、日本語を深く理解し、これを適切に運用することができる知識と技能を身につけることを目的とする。また、その理解の基礎となる、日本の文化や歴史を学ぶ科目も配置している。	「外国語・外国文化基礎科目群」は、日本を発信するツールとして、さまざまな外国語を深く理解し、これを適切に運用することができる知識と技能を身につけることを目的とする。また、その理解の基礎となる、客観的な異文化理解ができるよう、他の国の文化や歴史を学ぶ科目も配置している。
アドミッションポリシー ³	(1) 日本の歴史と文化に強い興味を持ち、異文化との比較の中でより深く学ぶ意欲をもつ学生 (2) 日本文化について、日本語と外国語を用いて、国際社会に発信する力を身につける意欲をもつ学生 (3) 一定水準の学力、とりわけ「国語」の深い知識を有する学生			

(※) 卒業要件単位数：124 単位 (基盤教育科目：28 単位以上、学科科目 66 単位以上、残り 30 単位は自由選択)

<技能・表現>

- (5) 適切な日本語を用いて、文章および口頭にて自らの考えを円滑に表現することができる
- (6) フィールドワークやワークショップを通じて、自分自身で課題を発見し、これを適切な方法で調査・分析・検討したうえで、他者に向けて効果的に発信することができる

<関心・態度・意欲>

- (7) 日本の伝統的な文化や最先端の文化を、文化の異なる人々へ発信する意欲を持つことができる
- (8) 日本を発信するツールとして、日本語以外の諸言語を積極的に学ぶ意欲を持つことができる

3. 複数のスペシャリティ			4. 関心領域および視野の拡大	
伝統的なものから最先端のものまで、「クールジャパン学」、「笑学」、「日本学」それぞれのコースで日本文化に関する専門的知識を深く学び、文化の異なる人々へさまざまな「日本」を発信することができる。			他の国の文化や歴史を深く理解することで、日本の文化を再発見し、現代のさまざまな国際問題について自分自身の見解をもつための契機とすることができる。また、国際日本学に関する自らの興味・関心領域を拡大し、視野を広げることができる。	
専攻科目群			発展科目群	
クールジャパン学コース科目群	笑学コース科目群	日本学コース科目群	発展科目	免許・資格科目
CJ31210 デジタル・ヒューマニティーズ CJ31209 海外の日本文学研究 CJ31208 旅と温泉 CJ31207 韓国から見た日本 CJ31206 中国から見た日本 CJ31205 ゲームシナリオ論 CJ31204 世界のポップカルチャー CJ31203 漫画文化論 CJ31202 アニメ文化論 CJ31201 クールジャパン学基礎	CJ32210 笑いをマネジメントする CJ32209 大阪文化史演習 CJ32208 大阪の文学 CJ32207 人形浄瑠璃文楽の世界 CJ32206 狂言の世界 CJ32205 漫才の世界 CJ32204 落語の世界 CJ32203 笑いとコミュニケーション CJ32202 世界のユーモアと日本の笑い CJ32201 笑学基礎	CJ33212 日本の伝統文化を発信する CJ33211 日本の芸能と文学 CJ33210 幕末史 CJ33209 同時代文学を読む CJ33208 越境する日本文学 CJ33207 日本の宗教と思想 CJ33206 イスラム世界と日本 CJ33205 漢文学2 CJ33204 漢文学1 CJ33203 アジアの中の日本2 CJ33202 アジアの中の日本1 CJ33201 日本学基礎	CJ41232 世界関係論 CJ41231 宗教文化とグローバル化 CJ41230 日本文学を英語で読む CJ41229 英語と世界の言語 CJ41228 世界の中の日本 CJ41227 インバウンド観光学 CJ41226 環境と経済 CJ41225 貿易から見る世界 CJ41224 国際企業論 CJ41223 市民活動と国際貢献 CJ41222 国際ビジネス論 CJ41221 国際リーダーシップ論 CJ41220 ICTと英語教育 CJ41219 ICTと英語研究 CJ41218 情報科学各論2 CJ41217 情報科学各論1 CJ41216 アメリカ史 CJ41215 イギリス史 CJ41214 アメリカ文化講義 CJ41213 イギリス文化講義 CJ41212 米文学概論2 CJ41211 米文学概論1 CJ41210 英文学概論2 CJ41209 英文学概論1 CJ41208 英語学講義2 CJ41207 英語学講義1 CJ41206 言語情報処理概論2 CJ41205 言語情報処理概論1 CJ41204 英語音声学2 CJ41203 英語音声学1 CJ41202 英語学概論2 CJ41201 英語学概論1	CJ42305 日本語教育実習2 CJ42304 日本語教育実習1 CJ42303 日本語教育演習2 CJ42302 国語科教育研究2 CJ42301 国語科教育研究1 CJ42206 日本語教育演習1 CJ42205 日本語教授法 CJ42204 国語科教育論2 CJ42203 国語科教育論1 CJ42202 書道2 CJ42201 書道1
		CJ33101 図書館・デジタルアーカイブ活用法		
<p>(4) 日本の伝統的な文化から最先端の文化まで深く理解し、3つのコースに関する専門的知識を身につけるために「コース科目群」を置き、選択したコースをより実践的に学ぶために「実習系科目群」を置く。</p> <p>(5) 選択したコースに留まらず、幅広い見識と視野を獲得するために「発展科目群」を置く。また、日本文化を国際的に発信するための手段として想定される、中高の国語科教員および日本語教員養成に必要な免許・資格科目も配置する。</p>				
<p>「各コース科目群」は、「クールジャパン学」、「笑学」、「日本学」それぞれのコースに関する専門的知識を深く学ぶことで、伝統的なものから最先端のものにいたる多種多様な日本の文化を、文化の異なる人々に向け、発信できるだけの十分な教養を身につけることを目的とする。</p>			<p>「発展科目群」は、幅広い見識と視野を獲得することを目的とする。</p> <p>また、日本文化の国際的発信の手段として想定される、免許・資格科目も配置している。</p>	

追手門学院大学 基盤教育科目カリキュラムマップ

人材養成目的	市民として生涯にわたって自己を形成し続ける活動の基盤を養成する				
ラーニングアウトカム	①市民教養及び専門基礎の学びの基本となる多様なスキルやマインドを確保し実践に生かす			①人と社会と自然の複雑なかわり方を学際的視点で理解し、現代社会の価値観の多様性と広がりについて学びを深める ②学問の多角的なものの見方と捉え方、および学び方の多彩な方法論に出会い生活に生かす経験を積む	
科目群	ファウンデーション科目			リベラルアーツ・サイエンス科目群	
	初年次	外国言語	体育	リベラルアーツ・サイエンス系	人文学系
4年次					
3年次					
2年次		LA12210 日本語聴解上級2 LA12209 日本語聴解上級1 LA12208 日本語読解上級2 LA12207 日本語読解上級1 LA12206 Academic English 2 LA12205 Academic English 1 LA12204 Advanced English 2 LA12203 Advanced English 1 LA12202 Online English Seminar 4 LA12201 Online English Seminar 3		LA21202 L & S セミ LA21201 未来課題	LA22202 国際異文化理解2 LA22201 国際異文化理解1
1年次	LA11104 コンピュータ入門2 LA11103 コンピュータ入門1 LA11102 日本語表現 LA11101 数的処理入門	LA12114 日本語聴解中級2 LA12113 日本語聴解中級1 LA12112 日本語読解中級2 LA12111 日本語読解中級1 LA12110 中国語2 LA12109 中国語1 LA12108 フランス語2 LA12107 フランス語1 LA12106 ドイツ語2 LA12105 ドイツ語1 LA12104 Online English Seminar 2 LA12103 Online English Seminar 1 LA12102 総合英語2 LA12101 総合英語1	LA13104 ネイチャーアクティビティ2 LA13103 ネイチャーアクティビティ1 LA13102 スポーツ実習2 LA13101 スポーツ実習1	LA21101 知の探究	LA22112 民俗学 LA22111 人文地理学 LA22110 西洋史 LA22109 アジア・オセアニア史 LA22108 日本史 LA22107 ことばと文化 LA22106 言語学 LA22105 西洋文学 LA22104 中国文学 LA22103 日本文学 LA22102 芸術学 LA22101 哲学
カリキュラムポリシー	「高校生」から「大学生」への移行に必要な学びの基礎力と情報を受信・発信する基本的スキルを修得するための科目	他社とのコミュニケーション（他者に情報を発信する、他者が発信する情報を受信する）のための基礎的スキルを修得するための科目	生涯にわたる健康維持のためのスキルを修得し、それを生涯体育へと連結させるための科目	市民としての自己形成のためには、その大前提として、現在の自己が、どのような歴史的、思想的、社会的、政治的、経済的、自然科学的文脈の中で生きているのかを明確に認識している必要がある。自己形成の前提となるこのような認識を、多様な学問領域全体からバランスよく修得するための科目	

		①学習者自らが行動する社会的な学びの場を広げる ②中長期の目標にそった自主的・自律的なキャリア開発と選択のためのスキル・態度・方法論を身につける ③学習者自らが設定・遂行する学際的課題を体験的かつ協同的に学ぶ経験を積む ④帰納・演繹の学びの本質と面白さを体得する	
		主体的学び科目	
社会科学系	自然科学系	キャリア形成系	キャリア展開系
			LA32302 留学生キャリア形成演習2 LA32301 留学生キャリア形成演習1
		LA31201 キャリアデザイン	LA32208 日本事情4 LA32207 日本事情3 LA32206 グローバルキャリア論 LA32205 国際現地研修 LA32204 海外インターンシップ LA32203 リーダーシップ実地発展演習 LA32202 リーダーシップゼミナール2 LA32201 リーダーシップゼミナール1
LA23113 認知の科学 LA23112 社会の心理 LA23111 スポーツ学 LA23110 教育学 LA23109 社会福祉学 LA23108 社会学 LA23107 社会・経済思想 LA23106 経営学 LA23105 経済学 LA23104 国際関係論 LA23103 政治学 LA23102 日本国憲法 LA23101 法学	LA24103 情報の科学 LA24102 生命の科学 LA24101 ものの科学	LA31110 日本事情2 LA31109 日本事情1 LA31108 ファシリテーション入門 LA31107 リーダーシップ入門 LA31106 キャリア数学 LA31105 キャリア言語 LA31104 キャリア形成プロジェクト LA31103 ボランティア論 LA31102 追手門アイデンティティ LA31101 自己との対話	LA32126 Japan Program(Social Issues in Japan)2 LA32125 Japan Program(Social Issues in Japan)1 LA32124 Japan Program(Japanese Business and Management)2 LA32123 Japan Program(Japanese Business and Management)1 LA32122 Japan Program(Modern Japanese Society)2 LA32121 Japan Program(Modern Japanese Society)1 LA32120 Japan Program(Japanese Traditional and Contemporary Culture)2 LA32119 Japan Program(Japanese Traditional and Contemporary Culture)1 LA32118 Japan Program(Japanese History and Literature)2 LA32117 Japan Program(Japanese History and Literature)1 LA32116 短期海外セミナー LA32115 海外セミナー LA32114 交換留学Ⅱ LA32113 交換留学Ⅰ LA32112 スポーツケア演習 LA32111 プロジェクト実践Ⅳ LA32110 プロジェクト実践Ⅲ LA32109 プロジェクト実践Ⅱ LA32108 プロジェクト実践Ⅰ LA32107 インターンシップ実習Ⅳ LA32106 インターンシップ実習Ⅲ LA32105 インターンシップ実習Ⅱ LA32104 インターンシップ実習Ⅰ LA32103 キャリア実践英語2 LA32102 キャリア実践英語1 LA32101 リーダーシップ実地基礎演習
		大学での学びをじぶんの力で価値あるものとし、卒業後の進路も含めて自分の将来の展望・設計への連結となる基本的な知識・技能・姿勢を修得するための科目	すでに修得した基盤となる知識・技能・姿勢を、様々な場において実践的に活用しながら、自分の将来の展望・設計に結びつけるための科目